

3 S10miniからS10Vへのリプレース

3. 2 ハードウェアの互換性

表3-1に、S10miniからS10Vへの互換性について示します。

表3-1 S10miniからS10Vへの互換性一覧 (1/2)

(○：互換性有または一部互換性有（移行作業が必要）、×：互換性無、－：比較対象外)

No.	品名	S10mini型式	S10V型式	互換性					設定	説明
				機能	ユーザープログラム					
					ラダー	HI-FLOW	C			
1	CPU(モデルS)	LQP000	LQP510	○	○	○	○	○	CPUがS10Vではラダー実行用LPU(LQP510/511/512)とHI-FLOWおよびCプログラム実行用CMU(LQP520またはLQP525/527)に置き換わります。	
2	CPU(モデルH)	LQP010	/511/512							
3	CPU(モデルF)	LQP011	+LQP520							
4	CPU(モデルD)	LQP120	/525/527							
5	CPU(モデルL)	LQP800	LQP510	○	○	－	－	○		
6	CPU(モデルM)	LQP850	LQP510	○	○	－	－	○		
7	マウントベース(2スロット)	HSC-1020	無し	－	－	－	－	－	代替製品はありません。 HSC-1540またはHSC-1580を使用してください。	
8	マウントベース(4スロット)	HSC-1040	HSC-1540	○	－	－	－	－	S10V型式を使用してください。	
10	マウントベース(8スロット)	HSC-1080	HSC-1580	○	－	－	－	－	S10V型式を使用してください。	
11	電源(AC100V入力)	LQV000	←	－	－	－	－	－		
12	電源(AC100V入力)	LQV010	←	－	－	－	－	－		
13	電源(DC24V入力)	LQV020	←	－	－	－	－	－		
14	電源(DC100V入力)	LQV100	←	－	－	－	－	－		
15	電源(AC200V入力)	LQV200	←	－	－	－	－	－		
16	FL.NET	LQE000	LQE500	○	○	－	○	○	パラメータを設定ツールで再設定する必要があります。S10VではPI/Oメモリのアドレスを一部変更しており、拡張メモリが存在しないため、ユーザープログラムの変更が必要な場合があります。(詳細は3.3.2.2章参照)	
17	OD.RING(4km)	LQE010	LQE510	○	－	－	－	○	パラメータを設定ツールで再設定する必要があります。	
18	OD.RING(1km)	LQE015	LQE515	○	－	－	－	○		
19	ET.NET	LQE020	LQE520	○	－	－	○	○	通信用関数(ソケットハンドラ)は互換性があります。但し、S10VではPI/Oメモリのアドレスを一部変更しており、拡張メモリが存在しないため、ユーザープログラムの変更が必要な場合があります。(詳細は3.3.2.4章参照)	
			LQE720	○	－	－	○	○		
20	SV.LINK	LQE021	LQE521	○	－	－	－	○	パラメータ設定をツールで再設定する必要があります。	
21	SD.LINK	LQE030	LQE530	○	－	－	－	○	パラメータ設定をツールで再設定する必要があります。	
22	J.NET	LQE040	LQE540	○	－	－	○	○	パラメータを設定ツールで再設定する必要があります。	
23	J.NET-INT	LQE045	LQE545	○	－	－	○	○	S10VではPI/Oメモリのアドレスを一部変更しており、拡張メモリが存在しないため、ユーザープログラムの変更が必要な場合があります。(詳細は3.3.2.6,3.3.2.7章参照)	
24	IR.LINK	LQE046	LQE546	○	－	－	○	○		

3 S10miniからS10Vへのリプレース

表 3-2 S10miniからS10Vへの互換性一覧 (2/2)

(○：互換性有または一部互換性有（移行作業が必要）、×：互換性無、－：比較対象外)

No.	品名	S10mini型式	S10V型式	互換性				説明	
				機能	ユーザープログラム				設定
					ラダー	HI-FLOW	C		
25	CPU間リンク	LQE050	LQE550	○	○	－	○	○	ラダー図システム(Ver-Rev:01-30以降)のコメント機能での移行が可能です。 (詳細は2.5.2章参照)
26	RS232C	LQE060	LQE560	○	○	－	○	○	パラメータを設定ツールで再設定する必要があります。 S10VではPI/Oメモリのアドレスを一部変更しており、拡張メモリが存在しないため、ユーザープログラムの変更が必要な場合があります。(詳細は3.3.2.8章参照)
		LQE160							
27	RS422	LQE165	LQE565	○	○	－	○	○	
28	D.NET	LQE070	LQE570	○	－	－	－	○	パラメータを設定ツールで再設定する必要があります。 S10VではPI/Oメモリのアドレスを一部変更しており、拡張メモリが存在しないため、ユーザープログラムの変更が必要な場合があります。(詳細は3.3.2.9章参照)
		LQE170							
		LQE175	LQE575	○	－	－	－	○	
29	HDLC	LQE090	LQE590	○	－	－	○	－	S10VではPI/Oメモリのアドレスを一部変更しており、拡張メモリが存在しないため、ユーザープログラムの変更が必要な場合があります。(詳細は3.3.2.10章参照)
30	拡張メモリ	LQM000	LQP520 /525/527	○	○	○	○	○	拡張メモリのアドレスをS10Vの拡張レジスタ等に割り当てる必要があります。(詳細は2.11章参照)

3 S10miniからS10Vへのリプレース

3. 3 ソフトウェアの互換性

3. 3. 1 ソフトウェア比較一覧

(1) ユーザープログラムの互換性一覧

表3-3に、S10miniとS10Vのユーザープログラムの互換性一覧を示します。

表3-3 S10miniとS10Vのユーザープログラムの互換性一覧

(○：互換性有または一部互換性有（移行作業が必要）)

No.	言語種別	互換性	相違点	移行作業
1	ラダー図	○	S10miniは右下がりラダー、S10Vは水平ラダーとなります。S10Vでは、S10miniにはない新規機能(イーサ通信、S10V用比較命令)があります。	S10V ラダー図システムでコンバートを行ってください。
2	HI-FLOW	○	言語仕様は互換性があります。S10Vでは、S10miniにはない新規機能(イーサ通信、S10V用比較命令)があります。	S10V HI-FLOWシステムでコンバートを行ってください。
3	C言語	○	S10miniは68Kコンパイラー、S10VはSHコンパイラーを使用します。S10miniでコンパイルしたオブジェクトファイルは使用できません。	S10mini用のソースプログラムをS10V用に変更(変更方法は、2.7 C言語プログラムの移行を参照。)し、SHコンパイラーでコンパイルしてください。 RPDP/S10Vの詳細は、S10Vソフトウェアマニュアル オペレーション RPDP/S10V For Windows (SVJ-3-133) 参照

(2) プログラミングソフトウェア対応表

■ S10mini用Windows版ソフトウェアパッケージ

表3-4にS10mini用とS10V用ソフトウェアパッケージの対応表を示します。

表3-4 S10mini用とS10V用ソフトウェアパッケージの対応表

(－：S10V対応品なし)

No.	S10mini		S10V対応品		備考
	名称	型式	名称	型式	
1	S10Toolsシステム	S-7890-01	S10Toolsシステム	S-7895-01	
2	ラダー図システム	S-7890-02	S10V ラダー図システム	S-7895-02, 01, 50, 51, 52	
3	HI-FLOWシステム	S-7890-03	S10V HI-FLOWシステム	S-7895-03, 01, 51	
4	CPMSEポートシステム	S-7890-05	－	－	S10VはOSを内蔵しているため本パッケージは不要。
5	CPMSEテヘバツカシステム	S-7890-07	S10V CPMSテヘバツカシステム	S-7895-07, 52	
6	一括セーブ/ロードシステム	S-7890-09	S10V 一括セーブ/ロードシステム	S-7895-09, 50, 51, 52	
7	RPDP/S10システム	S-7891-10	RPDP/S10Vシステム	S-7895-10, 52	
8	NX/ACP-S10	S-7891-11	NX/ACP-S10V	S-7895-11	S10VではET. NETは非サポート。CMUからのみNX通信可能。
9	NX/Ladder	S-7891-12	NX/Ladder	S-7895-12	
10	NX/Tools-S10システム	S-7890-13	NX/Tools-S10Vシステム	S-7895-13	
11	NX/HOST-S10	S-7890-14	NX/HOST-S10V	S-7895-14	
12	ラダー図コメントコンパイルシステム	S-7890-19	S10V ラダー図システム	S-7895-02, 01, 50, 51, 52	S10V ラダー図システムに統合
13	CPU間リンクシステム	S-7890-22	S10V CPU間リンクシステム	S-7895-22, 50, 51, 52	
14	4chアナログパルスカウンタ	S-7890-23	S10V ラダー図システム	S-7895-02, 01, 50, 51, 52	S10V ラダー図システムに統合
15	外部機器リンクシステム	S-7890-24	S10V外部機器リンクシステム	S-7895-24, 50, 51, 52	
16	J. NETシステム	S-7890-27	S10V J. NETシステム	S-7895-27, 50, 51, 52	
17	OD. RING/SD. LINKシステム	S-7890-28	S10V OD. RING/SD. LINKシステム	S-7895-28, 50, 51, 52	
18	ET. NETシステム	S-7890-29	S10V ET. NETシステム	S-7895-29, 50, 51, 52	
19	FL. NETシステム	S-7890-30	S10V FL. NETシステム	S-7895-30, 50, 51, 52	
20	D. NETシステム	S-7890-31	S10V D. NETシステム	S-7895-31, 50, 51, 52	
21	IR. LINKシステム	S-7890-36	S10V IR. LINKシステム	S-7895-36, 50, 51, 52	
22	クロスコンパイラ	MCP68K	SuperH RISC engine C/C++コンパイラ	S-7350-21P (P-J02900W001)	

3 S10miniからS10Vへのリプレース

3. 3. 2 モジュール単位の移行

3. 3. 2. 1 CPUモジュール

(1) 使用モジュール

下記に使用言語毎の使用モジュール比較一覧を示します。

(○：移行可能)

No.	使用言語	S10mini	S10Vへの移行	説明
1	ラダー言語のみ	CPUモジュール	○	S10Vでは、LPUモジュールを使用。
2	HI-FLOW	CPUモジュール	○	S10Vでは、LPUおよびCMUモジュールを使用。
3	Cモードプログラム	CPUモジュール	○	S10Vでは、LPUおよびCMUモジュールを使用。

(2) S10mini CPUのスイッチ設定

S10mini CPUでは下記設定がスイッチ設定でしたが、S10Vでは一部ツールからの設定に変更になっています。変更点を下記に示します。

(○：移行可能)

No.	項目	S10mini	S10Vへの移行	説明
1	RUN/STOP切替え	トグルスイッチ。	○	S10Vでは、トグルスイッチまたはS10V 基本システム(S-7895-38)からRUN/STOP可能。
2	SIMU.RUN切替え	トグルスイッチ。	○	S10Vでは、S10V 基本システム(S-7895-38)を使用して切替えます。
3	プロテクトON/OFF切替え	トグルスイッチ。	○	S10Vでは、S10V 基本システム(S-7895-38)を使用して切替えます。
4	リセット	プッシュスイッチ。	○	S10Vでは、トグルスイッチを使用し、ONからOFFにするとリセットします。 または、S10V基本システム(S-7895-38)を使用してリセット可能